



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月14日

上場会社名 株式会社ベルテクスコーポレーション
(ゼニス羽田ホールディングス株式会社分)

上場取引所 東

コード番号 5290 URL <https://www.vertex-grp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土屋 明秀

問合せ先責任者 (役職名) 経理担当部長 (氏名) 小向 久夫

TEL 03(3556)2801

四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績 (平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	6,753	△12.8	472	△51.8	518	△50.2	292	△55.6
30年3月期第2四半期	7,744	21.0	980	70.0	1,040	55.3	660	58.1

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 312百万円(△55.2%) 30年3月期第2四半期 697百万円(66.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	7.84	—
30年3月期第2四半期	17.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	22,573	13,818	61.2	370.55
30年3月期	24,450	13,974	57.2	372.23

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 13,818百万円 30年3月期 13,974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

株式会社ベルテクスコーポレーションの平成31年3月期の連結業績予想及び配当予想につきましては、株式会社ベルテクスコーポレーションの「平成31年3月期の連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」(平成30年11月14日発表)をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	46,184,502株	30年3月期	46,184,502株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	8,892,951株	30年3月期	8,642,426株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	37,358,592株	30年3月期2Q	37,597,267株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

当社は、平成30年9月26日をもちまして上場廃止となっており、平成30年10月1日に株式会社ホクコンと共同株式移転の方式により、共同持株会社である株式会社ベルテクスコーポレーションを設立しております。

株式会社ベルテクスコーポレーションの平成31年3月期の連結業績予想及び期末配当予想につきましては、株式会社ベルテクスコーポレーションの「平成31年3月期の連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」(平成30年11月14日発表)をご参照下さい。

なお、関東財務局より有価証券報告書の提出を要しない旨の承認(金融商品取引法施行令(昭和40年政令第321号)第4条第2項規定)を受けており、四半期報告書の提出の予定はありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資の増加を背景に、企業収益や雇用・所得環境が改善するなど緩やかな回復基調で推移しました。一方で、企業の人手不足や原材料高騰の影響に伴う生産・物流コストが上昇、通商問題による貿易摩擦のリスクの高まりや、豪雨・台風・震災等相次ぐ自然災害による経済への影響など景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、第一次中期経営計画の2年目となる今年度を重要な事業年度と位置づけ、近年の異常気象・ゲリラ豪雨による浸水対策、大地震による下水道施設や管路の損壊リスクへの必要性の高まりに対応した製品の拡販に注力し、防災部門については自社オリジナル高性能製品で営業展開を図り、受注活動に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は6,753百万円と前年同期と比べ991百万円(12.8%)の減収となりました。これは前年同期における特殊要因として、東北の復興関連事業の出荷が継続していたこと、並びに長期大型物件の出荷が集中したことなどによるものであります。

利益面につきましては、生産効率の向上及び経費縮減に努めたものの売上減収により営業利益は472百万円と前年同期と比べ508百万円(51.8%)の減益となり、経常利益は518百万円と前年同期と比べ522百万円(50.2%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、税効果会計による法人税等調整額147百万円の計上等により、292百万円と前年同期と比べ367百万円(55.6%)の減益となりました。

なお、平成30年10月1日に株式会社ホクコンとの経営統合により、新たに設立された共同持株会社である株式会社バルテクスコーポレーションの下、今後、バルテクスグループとして株式会社ホクコンとの連携を強化し、積極的な取り組みを図ってまいります。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

(コンクリート等製品事業)

当第2四半期連結累計期間におけるコンクリート等製品事業につきましては、前年度で東北の復興関連事業が一巡、また、前年同期は長期大型物件の出荷が集中しましたが、今年度は公共事業関連製品として従来の下期偏重で推移していることから売上高は5,690百万円、前年同期と比べ841百万円(12.9%)の減収となり、営業利益は663百万円、前年同期と比べ405百万円(37.9%)の減益となりました。

(セラミック事業)

セラミック事業は、電子電気分野及び半導体分野の市場が好調に推移したことにより、売上高は503百万円、前年同期と比べ55百万円(12.3%)の増収となり、営業利益は83百万円、前年同期と比べ51百万円(163.4%)の増益となりました。

(工事業)

工事業は、コンクリート等製品事業の減収に伴い、据付・設置工事が減少したため、売上高326百万円、前年同期と比べ134百万円(29.1%)の減収となりました。営業利益は39百万円、前年同期と比べ54百万円(57.5%)の減益となりました。

(その他事業)

工事資材事業の収入減少により、その他事業全体で売上高は232百万円、前年同期と比べ71百万円(23.6%)の減収となりました。営業利益は72百万円と前年同期と比べ24百万円(25.6%)の減益となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の営業形態として上半期(第1四半期及び第2四半期)に比べ下半期(第3四半期及び第4四半期)における出荷高の割合が大きいため、連結会計年度の上半期の売上高と下半期の売上高においては、下期偏重の傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は12,738百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,533百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が1,360百万円、受取手形及び売掛金が1,755百万円減少したことによるものです。固定資産は9,834百万円となり、前連結会計年度末に比べ655百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が781百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は22,573百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,877百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は5,568百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,632百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が525百万円、未払法人税等が378百万円減少したことによるものです。固定負債は3,186百万円となり、前連結会計年度末に比べ89百万円減少いたしました。これは主に社債が40百万円、長期借入金が53百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は、8,754百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,721百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は13,818百万円となり、前連結会計年度末に比べ156百万円減少いたしました。これは主に剰余金の配当376百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は61.2%（前連結会計年度末は57.2%）、1株当たり純資産額は370.55円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

株式会社バルテクスコーポレーションの平成31年3月期の連結業績予想及び期末配当予想につきましては、株式会社バルテクスコーポレーションの「平成31年3月期の連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」（平成30年11月14日発表）をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,466,324	5,105,485
受取手形及び売掛金	6,545,787	4,789,816
未成工事支出金	71,501	152,118
商品及び製品	1,459,775	1,757,721
仕掛品	107,251	111,336
原材料及び貯蔵品	384,737	411,835
その他	250,035	419,823
貸倒引当金	△13,488	△9,356
流動資産合計	15,271,923	12,738,782
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,987,769	5,987,769
その他(純額)	1,361,721	2,143,150
有形固定資産合計	7,349,491	8,130,920
無形固定資産		
	117,168	114,057
投資その他の資産		
その他	1,786,613	1,658,340
貸倒引当金	△74,638	△68,930
投資その他の資産合計	1,711,974	1,589,409
固定資産合計	9,178,634	9,834,387
資産合計	24,450,558	22,573,169
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,465,972	2,940,165
短期借入金	1,230,000	1,230,000
1年内返済予定の長期借入金	161,112	129,598
1年内償還予定の社債	236,000	175,000
未払法人税等	437,418	58,705
賞与引当金	282,289	254,802
工場閉鎖損失引当金	118,500	-
その他	1,269,353	780,265
流動負債合計	7,200,645	5,568,537
固定負債		
社債	90,000	50,000
長期借入金	243,773	190,679
退職給付に係る負債	1,331,607	1,302,593
役員退職慰労引当金	4,290	4,290
工場閉鎖損失引当金	514,805	512,105
その他	1,090,972	1,126,562
固定負債合計	3,275,449	3,186,230
負債合計	10,476,094	8,754,768

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	743,845	743,845
利益剰余金	11,257,036	11,173,444
自己株式	△1,470,716	△1,562,548
株主資本合計	12,530,165	12,354,742
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	224,499	243,859
土地再評価差額金	1,219,799	1,219,799
その他の包括利益累計額合計	1,444,298	1,463,658
純資産合計	13,974,463	13,818,400
負債純資産合計	24,450,558	22,573,169

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	7,744,988	6,753,195
売上原価	5,323,127	4,751,640
売上総利益	2,421,860	2,001,555
販売費及び一般管理費	1,441,075	1,529,243
営業利益	980,784	472,311
営業外収益		
受取利息	127	108
受取配当金	9,321	10,803
持分法による投資利益	4,586	-
経営指導料	20,000	20,000
貸倒引当金戻入額	-	5,143
その他	60,049	55,677
営業外収益合計	94,084	91,734
営業外費用		
支払利息	10,707	9,064
持分法による投資損失	-	23,077
貸倒引当金繰入額	14,713	-
その他	9,223	13,709
営業外費用合計	34,643	45,851
経常利益	1,040,226	518,194
特別利益		
固定資産売却益	4,101	-
投資有価証券売却益	6,976	-
特別利益合計	11,078	-
特別損失		
固定資産除却損	0	4,404
経営統合関連費用	-	6,110
工場閉鎖費用	-	5,022
特別損失合計	0	15,536
税金等調整前四半期純利益	1,051,304	502,657
法人税、住民税及び事業税	364,487	62,070
法人税等調整額	26,766	147,670
法人税等合計	391,253	209,741
四半期純利益	660,050	292,916
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	660,050	292,916

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	660,050	292,916
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,291	19,359
その他の包括利益合計	37,291	19,359
四半期包括利益	697,342	312,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	697,342	312,276
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,051,304	502,657
減価償却費	189,480	193,090
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,440	△9,840
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,941	△27,486
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△47,549	△29,014
工場閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	-	△121,200
受取利息及び受取配当金	△9,449	△10,912
支払利息	10,707	9,064
持分法による投資損益(△は益)	△4,586	23,077
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,976	-
為替差損益(△は益)	117	735
固定資産除売却損益(△は益)	△4,101	4,404
売上債権の増減額(△は増加)	1,200,723	1,755,971
たな卸資産の増減額(△は増加)	△187,325	△409,747
仕入債務の増減額(△は減少)	△142,681	△525,806
その他	△180,610	△575,849
小計	1,873,434	779,143
利息及び配当金の受取額	14,449	16,312
利息の支払額	△11,165	△9,402
法人税等の支払額	△351,149	△437,709
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,525,569	348,344
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△30,500	28,700
投資有価証券の売却による収入	13,168	-
有形固定資産の取得による支出	△233,802	△1,018,700
有形固定資産の売却による収入	4,101	-
無形固定資産の取得による支出	△6,419	△9,307
関係会社株式の取得による支出	△160,000	△20,000
貸付金の回収による収入	862	722
その他	3,822	1,498
投資活動によるキャッシュ・フロー	△408,766	△1,017,086
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	600,000	-
長期借入金の返済による支出	△390,932	△84,608
社債の償還による支出	△201,000	△101,000
リース債務の返済による支出	△17,177	△10,206
自己株式の取得による支出	△114	△91,831
配当金の支払額	△298,701	△375,014
財務活動によるキャッシュ・フロー	△307,925	△662,660
現金及び現金同等物に係る換算差額	△117	△735
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	808,759	△1,332,138
現金及び現金同等物の期首残高	5,174,042	6,398,424
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,982,802	5,066,285

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

平成30年6月27日開催の定時株主総会(株式会社ホクコンは、平成30年6月28日開催)において、当社と株式会社ホクコンが株式移転により「株式会社バルテクスコーポレーション」を設立することが承認可決され、平成30年10月1日に同社が設立されました。